修徳

題字：伊藤博文

発行所
修徳自治連合会
広報委員会
修徳社会福祉協議会
発行責任者　篠原　實
編集責任者　小西宏之
印刷所　(有)章美プリント

自主防災会　防災訓練

消防隊がクレーンによる救出訓練

今年も震度6〜7の地震を想定

今年も『京都府南部を震源とする震度六〜七の地震が発生した』という想定で、修徳自主防災会の総合防災訓練は、九月十六日（日）午前九時三十分から開始された。

ビル火災の教訓も　他人事と思わない

七月に竣工して、初めての第一次避難場所、修徳公園に各防災部（町内会）の皆さんが避難してきた。

訓練前に、まず煙発生テントをくぐる。毎年のことであるが、今年は九月一日の東京歌舞伎町の火災を、まだ生なましく感じる時期で、ハンカチでくちをふさぎ、姿勢を低くして、真剣な顔で通っていく。

クレーン救出を注視

救出器材を探す

第1ブロックは、倒壊建物から被害者を救出する。今年は、その前に、必要器材を「自主防災会器具庫」から、判断して持ち出すところから始まった。第2ブロックは、立体型燃焼機で、火災を発生させ、消火器で消火する訓練をした。

担架をつくる

第3ブロックは、棒二本とシートで担架をつくることから始めた。

第4ブロックは、三角布による止血などの応急処置の訓練をした。

今年の圧巻は、下京消防署の消防隊クレーン梯子による救出訓練だった。消防隊員は、修徳ふれあい福祉会館の東側の屋外階段の三階部分に取り残された人を、船型の担架で無事救出した。

消防分団の受閲は　学区防災力の象徴

恒例の消防分団の放水訓練と、女性会のおにぎり配布が終わると、今年は、〝来年の京都市受閲を目標に訓練に励む〟修徳消防分団員による手帳点検が披露された。

防災カルテで被害想定を

阪神大震災で、木造住宅の倒壊で死者のでた七割は、昭和三十五年以前に建築された木造住宅で占めている。

こういった京都市の想定被害の情報を『防災カルテ』で、自主防災会の防災訓練のときにも提供してほしい。各町内会で、「家屋の倒壊や道路の通行不能、さらに、救出人員や行方不明人員、火災の発生」などの想定被害情報は「より実際に近い状況」が想定できる。それが各町内会相互の救援活動訓練の判断材料にもなる。

実際の災害発生時には例えば、火災発生状況、風向き、晴雨などの気象条件を、京都市の『防災情報システム』から取り込めば「どこへ、どの道を通って避難すればよいか」決断ができることを知っておいてほしい。

自主防災会　副会長　平井　常夫

姿勢を低くして、ハンカチでくちを押さえて!!

毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただいて、広報紙作成の一助にいたしております。

東室町会の余剰金　修徳公園にご寄贈

昨年度末をもって発展的解散を決められた東室町会が、その余剰金（三十一万六千七百八十円）を修徳公園の資材購入資金にご寄贈くださり、その贈呈式が、九月十六日の防災訓練の直後、修徳公園で行なわれました。

東室町会は、昭和二十八年三月二十日に結成され、繁栄する東室町通を志向され、大型街灯の設置、高砂町の支援など、活発な事業展開を続けられてきました。しかし、昨今は会員も半減し、高砂町が立派に運営されていることなどから、発展的解散を決意されました。

東室町会を代表して入江さんが篠原会長へ目録を贈呈される。

大琳、辻井、京屋、鐘光、京西、村山、万喜、塩谷、平井、澤田、日進の各社の皆様に、心よりお礼申し上げます。（修徳公園の安らぎを守る会）

安心して歩ける道路をつくりたい

車いすで道路の危険度を検証

五条交通指導員部会

雨で延びのびになっていた五条交通指導員部会の『車いすの体験学習会』が九月二十九日（土）午前十時に、修徳公園で始まった。

【参加委員、平井副会長、大八木さん（藪下）、森田さん（弁財天）、松本(泰)さん（大堀）、宮川さん、中村順恵さん（婦人部）】

路側帯、歩道の真ん中にも電柱

万寿寺通を西へ進む。『電柱』が車いすを、路側帯からはみ出させる。ウイークデイなら間違いなく車と鉢合わせする。

西洞院通を行く。東側の歩道上の一つめの電柱には困ったものである。

高辻通西洞院角の歩道にくる。車道との段差は大きく、車いすの脱輪がこわい。車道と歩道にまたがって、違法駐車する車が多い。若宮通の角では車と家に挟まれる格好で、車いすの参加者が降りてしまった。

凹凸と段差なくす工夫が必要

各戸が、車の出入りのために、車道との境界部分の歩道を切り下げてもらっている。幅の狭い歩道では、これが原因で大きい凹凸をつくる。このようなバリアをなくす工夫が必要である。

弱者本位の道路設備

道路は目的別に整備して、生活道路には「ハンプ」や監視機械などで、制限時速以上では物理的に車が走れなくなる道路、不法駐車で子どもたちや、高齢者の皆さんの見通しを奪わない道路をつくりたい。

交通対策協議会　会長　福井　謙三

修徳民生児童委員会

十二月付けで役員が改選される

民生委員は、本年十二月が改選の年に当たり、数カ月空席になっておりました児童委員も含め、先日、修徳推薦委員会の皆様により、次期民生委員が決まりました。

学区の皆様にお知らせいたしますとともに、よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

会長　堀　順象（大江）

副会長　森　芳子（御供石）
委員　多田　啓子（布屋）
［以上再任］
主任児童委員　中村　秀子（大江）
［新任］

毎回好評　おにぎり

女性会の給食給水活動

前日夜遅くまで降っていた雨も朝にはやみ、訓練日和となりました。

中村会長宅に朝七時過ぎから、女性会委員全員が集まり、美味しい梅干し、たくわん、のりが用意されていて、炊きあがったご飯が、次々と運ばれてきました。さすが主婦！手際よく、四百個のおにぎりが美味しそうに、パック詰めされていき、和気藹々のうち、予定時間より早く出来上がり全員ホッとしました。

新しく出来た修徳公園でも、今年初めて、訓練中におにぎりをにぎりました。

女性会の皆様、朝早くからご苦労様でした。中村会長様のご家族の方にも、前日から、いろいろとお世話になり、有り難うございました。

女性会　谷口よし子

更生保護婦人会

告知板

洛央自転車教室'点検OK　交対協

七月四日　JR京都駅南北自由通路での京都府第51回〝社会を明るくする運動〟街頭啓発運動後、山口良治一日保護観察所長による「地域いきいき・子育て・親育ち」のテーマのもとに、アバンティホールでのフォーラムに手伝いと傍聴をさせていただきました。

七月十二日　第51回下京区社明街頭啓発運動に参加　三名

九月七日　京都府更生保護婦人連盟第三ブロック研究協議会事前研修会　三名

九月十九日　京更婦連盟第三ブロック研究協議会。下京北、地区当番　下京区役所四階　参加七十五名

十月五日　第10回愛のチャリティーコンサート　出演　あおい輝彦　会場　テルサホール　四名参加

十月十二日　KYOのあけぼのフェスティバルに参加　二名

（柿本富美恵）

参加者がふえ高齢者も幼児もみんなのびのび

秋晴れ　観る　話す　技を競う

大江町が圧倒的な強さを発揮

昨年とはうって変わった秋晴れのもと、例年よりもぐんと参加者が多く、とくに、シルバー層と幼児が目立っていたのは喜ばしい。主催者は、さしたるケガもなく無事に終われたことを、大会の盛り上がりとともに何よりのことと、ほっとしている。このような大会の成功の陰には、八月十日より二ヵ月に及び、再々集まって準備に協力していただいた大会役員、競技委員の皆さんのご苦労があり、関係者の皆さんのご好意がある。感謝の念とともにご披露しておきたい。

大会総務　佐倉　道彦

昨年の午後三時からの大雷雨の印象が強く、それだけ、今年の学区民大運動会の十月七日は、終日の秋晴れが嬉しかった。また競技成績も、昨年は、四町内会で優勝をわけたが、今年は大江町が圧倒的な強さを発揮して、六競技のうち四競技に優勝を果たした。シルバークラブの『三部対抗シルバー玉入れ』は「東部」が優勝した。昨年の雷雨が中止させた競技は、今年は安心して統行できた。幼児もお年寄りも、男性も女性も心地好く競え、とくに幼児は、景品をもらいにかわいらしく走り、満足気に映った。

今年もまた学区民が顔の見えるふれあいで、心のなかの絆を確かめた。

（上）白熱する「ザル引女子」（左上）玉入れ中野之町優勝
（左下）圧倒的な強さを示した大江町、「置替競走」も優勝

平成13年10月7日

学区民運動会成績

玉入れ競技（京都市長杯）
①中野之 45　②藪　下 37　③材　木 34　④布　屋 32

女子スプーンリレー
①大　江　②御供石　③亀　屋　④深　草

壮年風船競走
①弁財天　②藪　下　③中野之　④月　見

玉送り競走（京都市長杯）
①大　江　②御供石　③月　見　④小田原

置替競走
①大　江　②深　草　③亀　屋　④玉　屋

男子スプーンリレー（京都市体振連会会長トロフィー）
①大　江　②材　木　③月　見　④布　屋

3部対抗シルバー玉入れ
1 東部 31　2 西部 27　3 中部 23

町名	町別ラッキー賞当選者数	記念ラッキー賞出場選手
藪下町	5	嘉子　川野子
亀屋町	1	貴子　岸本
布屋町	0	滋人　田内
月見町	7	祥伸二郎　藤千森
材木町	5	昌子　木佐々
中野之町	2	栄子　井今
徳万町	0	建祥恵　南福井
小田原町	5	裕子　井岡吉
弁財天町	2	いわお也　川吉
御供石	2	一佳裕　井本岩
吉水俊成町	1	イケ子　光平
玉屋町	2	
大江町	4	
深草町	3	
富永町	1	
元両替町	1	
坂東屋町	1	
玉津島町	2	
高砂町	1	
大堀町	2	
五島憑王子町	4	
	0	

［敬称略］

計　50名　出場14ヵ町

女性会模擬店　学区民で賑わう

学区民大運動会あふれる熱気

秋晴れの運動会日和となりました。女性会では前日準備、当日八時三十分集合、なれた幹事さんのもと、テキパキと模擬店の準備がすすめられました。

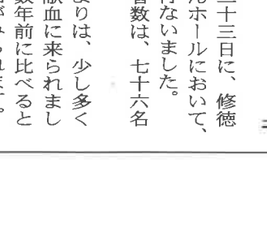
私はみたらしだんごを担当。最初は火がきつかったのかだんごのこげめもいく分つよめ、ガスの調節レバーを何度も開けたり閉めたり、だんだんといい色に焼けてきて、ひっくり返すタイミングもリズムにのってきました。

余分に用意しただんごが少し残っていた時「みなさ～ん、みたらしだんごがまだ少し残っています。ご協力ください～い」と中村会長のアナウンスが!!　さすが会長さんの一声、みるみるだんごは完売となりました。

昼からは競技に出たり応援したりと、いすにすわってゆっくりと運動会を楽しむことができました。また、いっそう女性会の皆さんとの親しみが深まりました。

女性会　青木　富子

人気のみたらしだんごは完売



マンションの主婦が息子ケンちゃんを呼ぶ。アッ！　道路を渡るよ、危ない！

大忙しの商家の奥さん。横断歩道を自転車で突っ走り人に当たる。ダメダメ。

近くのおばあちゃん　横断禁止の道路を"近道して渡ろう"なんて！

修徳シルバー交通安全教室

役員の寸劇に笑い

"交通死亡事故多発警報"が"発令中"という九月十五日（土・祝）午前十時、恒例の『修徳シルバー交通安全教室』が修徳せんだんホールで、五十二人が出席して開催された。

五条警察署から、中山美津香係長さんと中島可奈子さんのお二人の交通巡視員さんに、高齢者の方がたのための交通安全指導をしていただいた。

中島巡視員さんの"ポンタくん"「青信号でもとびださないで」の腹話術と、交対協の役員の皆さんの交通安全寸劇とで、笑いのうちの交通規則を頭に入れた。

交対協会長　福井　謙三

壮年風船競走に奇跡

弁財天町が優勝した！

奇跡、奇跡！　修徳の運動会に奇跡が起こりました。「壮年風船競走」で、弁財天町が優勝したのです。町内会始まって以来の快挙です。

今までは、表彰式といえば、ほとんど無縁のような目で他町の表彰を見ていました。それが今年は、四人の力が纏り、自分たちっ」で勝ち取りました。弁財天町でもやれば出来る！　来年からはもっともっと他の競技でも、若い人たちと一緒に力を合わせ、勝利の女神と仲良くなって、運動会を楽しめるようにしたいと心に誓いました。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

そして来年も、よろしくお願いいたします。

弁財天町　肥田　雅弘

▲下京区長、体振連合会長表彰を受ける　右から櫻田鈴美（材木）　勝見尚美（藪下）　森　一枝（御供石）の各役員

京都市バレーボール祭優勝の修徳バレーボールクラブが岡本下京区長より表彰される ▶

献血にご協力を

保健協議会

八月二十三日に、修徳せんだんホールにおいて、献血を行ないました。

献血者数は、七十六名でした。

昨年よりは、少し多くの方が献血に来られましたが、数年前に比べると減少傾向がみられます。

現在、血液型にかかわらず、血液が大変不足しております。

来年もまた献血を行ないますので、一人でも多くの方がたのご協力をお願いいたします。

保健協議会
会長　森　修司

女性会 女性会表具講習会

京表具の匠の技 裏打ちで楽しむ

女性会　平井　久子

十月十七日午後七時より、修徳せんだんホールで『表具の講習会』を開催いたしましたところ、七十九名ものご参加をいただきました。

基本は裏打ち

今回は、京表具師の福井謙三様（小田原町）と松本泰彦様（大堀町）に講師をお願いいたしました。最初に福井様よりお話をお聞きし、表具とは「襖、屏風、掛け軸、障子など、あらゆるものがすべて含まれている」ことを知りました。表具には工程がたくさんあるそうです。そのなかで一番大切な、基本になる「裏打ち」を教えていただくことになりました。

簡単な「糊付け」も、京表具の技のなかで、とても大事に思えてくる。身近な魅力がある。失敗にもまた笑い。

せんだんホールに入ったとたん、伝統ある掛け軸や、着物、帯などを近代的にアレンジした屏風が飾られ、美術館に入ったような雰囲気になり、感動いたしました。実践の前に、中村会長様の達筆「日々是好日」のお習字を「裏打ち」した見本で、リアルに説明していただきました。

福井千舟堂（福井謙三さん）秘蔵の品。松本観山堂さんも展示された。

裏打ちの三十程 失敗も楽しい

裏打ちコーナーは福井様、障子の張り替えコーナーは松本様と、二班に分かれて、交互に実践することになりました。障子のほうでは玉虫商店（吉水俊成）のご主人様にも一緒に、あれこれとご指導を賜りました。

私も表具の裏打ちをさせていただきました。裏打ちは（一）本紙に霧吹きをする、（二）裏紙に薄糊をして、「霧吹きした本紙」に張り付ける、（三）乾かす、と三段階に分かれます。失敗しては助っ人を求め、少しの工程でも大変でした。でも、その時どきに笑いがもれ、とても楽しく、本当に、よい経験をさせていただきました。

障子の張り替えのほうは、昔は狭い紙で、「ひとり」で、何回も張っていったものです。

最近の障子張りは 二人仲良く張れる

今は広い紙で、上下二人「夫婦」仲良く張れるそうです。

京都伝統の『表装』とも呼ばれる『表具』は、古くから、芸術や宗教が盛んであった京都を中心に発展したといいます。

今回は短時間ではありましたが、実践、感動、笑いと、楽しく有意義に勉強させていただきました。ありがとうございました。

10月28日の京都まつりに参加した子供たち。左手前の横顔の**彦坂育代**ちゃん、真中が**岩田未来**ちゃん、右が**彦坂幸永**ちゃん。
下京区は、崇神鉾保存会の船鉾などを男性が引いた。女性は恒例の踊りだった。

表彰 受賞者のお知らせ

九月二十一日
平安神宮平安講社有功賞
神事委員会
平安神宮平安講社有功賞
川上　弘（藪　下）

九月二十八日
京都市老人クラブ連合会
満九十歳祝賀表彰
瀬野　平夫（藪　下）
花井　鯛蔵（亀　屋）
中村　千代（弁財天）
山崎きく江（大　江）

十月七日
下京区長表彰
下京区体育振興会連合会
会長表彰
体育振興会役員功労
勝見　尚美（藪　下）
櫻田　鈴美（材　木）
森　一枝（御供石）

十月十八日
優良民生児童委員協議会
地域福祉活動表彰
修徳民生児童委員協議会
（代表　堀　順象）
下京区社会福祉協議会
会長表彰
社会福祉事業特別功労賞
高橋　政江（玉　屋）

（敬称略）

おめでとうございます

米寿のお祝い

平成十三年度
敬老記念品贈呈

敬老の日を前に、本年度記念品を受けられる八十八歳をお迎えになった当学区の対象の方がたは十名です。おめでとうございました。

二十一世紀早々、良い年になるかと思いきや、世界的な暗いニュースが紙面に踊り、嫌な思い出が頭をよぎった方もあったかと……、でも今までの熟練、豊富な経験、豊かな知恵を、われわれ若輩者に教えていただき、みんなで明るい明日となるようにご協力ください。そして皆様にはお体に充分気を付けられ、余暇を楽しくお過ごしくださいますようお祈り申しあげております。

青木　茂（深　草）
青木　英男（布　屋）
岡本シズエ（大　江）
倉八　淑子（大　江）
下田　直子（玉　屋）
髙田　静江（玉　屋）
松川　安雄（材　木）
三田村清一（月　見）
森末　正也（小田原）
横田　光子（藪　下）
（敬称略）

対象の方がた

民生児童委員会
会長　堀　順象

水鶏月 菊鉾バックに市民にアピール

社会を明るくする運動

『すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動』で、七月を恒例の啓発月間として活動を行なっています。

今年は七月十二日午後二時より、五条警察署のホールにて、下京保護司会全員と、更生保護観察協会・更生保護婦人会・少年補導委員会の方がた総勢百三十人の協力を得て、セレモニーを行ないました。

終了後は、祇園まつり山鉾の引き初めの当日でもあり、四条通り室町角において、菊水鉾・月鉾・鶏鉾をバックに、見物の方がたに大いにアピールしながら、街頭啓発をいたしました。

保護司　柿本　禎三

非行を防ぐ声掛けの一言

更生保護婦人連盟第3ブロック研究協議会に参加して

去る九月十九日、連盟の第三ブロック研究協議会に参加し、取り上げられた課題（一）今どきの子供を取り巻く状況と更婦活動、（二）組織を活性化させる地区運営のあり方、について話し合いました。

子供を取り巻く社会環境の変化により、子供たちの生き方も多様化してまいりました。しかし、基本はやはり家庭での躾が大切！　とくに、乳幼児期前半の親子のふれあいが、もっとも大切なことではないでしょうか。

また、私どもも、子供の非行防止に努め、いじめから守るために地域との交流を深め、各団体と協力していくことが必要であり、みんなで支え合う地域での「一言の声掛け運動」の提案がありました。

そして、組織を活性化するためには（一）若いひとにも理解をしてもらい、協力を求めていきましょう、（二）人間愛を持って心豊かに生きていける社会に携われるように日々研鑽を重ね、地道に夢を持って努力していきましょう、（三）私たち会員もあらゆる地域の行事に積極的に参加して交友を深めながら、前進していきましょう。このようなことを話し合いました。

最後に、京都保護観察所長様より『〝傾聴〟〝共感〟〝認知〟、挨拶は命のふれあい』とのお言葉をいただきました。

更保婦人会　山岸　春子

社会福祉協議会 告知板

九月十四日（金）

今年も満七十歳以上の高齢者の方がた二百九十五名に、「敬老祝」として「万寿堂」の赤飯をお届けいたしました。ご夫婦お揃いの五十六組のところへは「おはぎ」とペアにさせていただきました。

各町女性会委員の皆様、ご協力有難うございました。

九月十五日（土・祝）

（一）「下京区早朝ウォーキング大会」が今年も梅小路公園をメインに開催され、子供さんから高齢の方まで、清掃活動、すこやか体操、スタンプラリーと、心地よいひと時を過ごされました。

（二）交対協と共催で「シルバー交通安全教室」を開催しました。

交通巡視員さんの恒例の腹話術の人形と、今年は役員扮する名優の方がたの寸劇を取り入れた交通教室で、笑いのなかで交通事故防止について改めて認識させられました。

（2面に関連記事）

会長　松本　祥男